

2021年11月号
No. 97

～出会いとふれあいの場～ ハロー公民館

南街公民館だより

東大和市南街5-32 電話：564-2771 発行・編集：南街公民館

公民館開館50周年

東大和市
こうみんかん
50th



NO. 19

緑豊かな東大和市ですが、四季折々に美しい花を咲かせている市民の憩いの場、公園についてお話を伺いました。

市内には公園100か所、こども広場が17か所あります。老朽化したところも相当数あることから、安全面からも、毎週月曜日に職員が一日がかりで見回りを行っており、遊具の点検を業者に委託しています。公園等の規模としては、100㎡に満たないところから、市内最大である14.5haの面積を持つ狭山緑地まであります。

公園は、市民等の憩いの場であり、訪れる高齢者も多く、ベンチが必要ですが、老朽化により、なかなか整備が進みません。安全性や騒音・ごみに関する事等様々な市民の声がメールや電話、窓口等に届いています。

清原南公園・清原西公園・向原中央公園・桜が丘一丁目公園・向原南公園には、健康器具を設置しています。東京オリンピックの影響もあり、公園でスケートボードをやっている子どもたちからは、安全にできる場所が欲しいという声があります。

草取り清掃や花壇の整備などが課題です。自治会によっては地域の住民が日曜日に集まり、清掃整備をしていた時期もありましたが、負担となり、やめてしまったところもあるようです。

市では、市内23か所の公園等を対象に、維持管理活動を行う「緑のボランティア」に登録いただき、市民の協力を得ています。市から声かけがあり、自治会独自で花壇を作ったなどの経緯があるそうです。植え替えの時にはメンバーを増やして、職員も支援しています。

ボランティアの方々によると、作業していると「いつもきれいにしてくれてありがとう」と道行く人や学校帰りの小学生に声をかけられて、会話が弾むそうです。「小さな場所でも綺麗にしておこう」と思うそうです。

草むしり、木の伐採等の対応をできる限り行っていますが、高齢化で苦慮しているとのことです。

目標が高すぎると続かない為、自分たちのできる範囲で取り組んでいるそうです。基本的には、暑さなどで人が倒れないよう、80%の力で取り組んでいるとのことです。また、きれいな公園が維持できると、子どもたちもいたずらをしないそうです。

オールシーズン花が咲いているように工夫するため、5種類の同じ花になってしまいます。場所によっては、市から配分される花以外も加えて、オリジナルを楽しんでいるとの声もありました。市では、ウォーキングマップを作ってPRしています。

ボランティアの方々からは、「植え替えの時期(最終摘花)には、「花を差し上げます」の案内を掲示して花を配り、喜ばれている」、「道路清掃用の無料のごみ袋も、市民が身近な所で受け取れると良い」、「人と人が公園を介してコミュニケーションを図れるため、若い人でも参加できる方法を考えなければならない」、「大人として、公園に来る子どもたちにも、街をきれいにすることを教えたい」、「子どもの頃からの地域交流に対する経験は貴重であるため、子どもたちにも、地域の人が顔見知りになる経験をしてほしい」、「コロナの影響により、祭りやサロン活動などが開催できなくなっていることが残念である」、「公園ボランティアを通じて仲間ができた」、「人と人との繋がりが生き生きしており、直接会話を楽しめた」、「コミュニティの形成に繋がった」、「ごみ拾いに対する意識を変えるため、自分たちが頑張らないといけない」などの声もあがりました。

安心して住めるまちづくりのために、市民の心と心をつなぐ大切な場、公園の維持管理に尽くされている方々のご苦労に頭が下がります。心から感謝いたします。(若松)

今回お話を伺ったのは市役所環境部環境課緑化推進係の職員や南街地域のボランティアの方々です。

